

今年は何冊
読んだかね？

としょえもん

学校図書館サポートだより 第3号



第4回学校図書館読書指導員・図書ボランティア研修会

『活動事例発表会』

平成23年1月19日(水)10時～11時45分 八王子市教育センター(大会議室)

学校図書館支援担当の巡回も残すところ数回となりました。4月に発足、5月から23校への巡回を行ってきましたが、それぞれの学校で先生方や読書指導員・ボランティアのみなさんによる整備や活用が進んでいます。今年度最後の研修会ではその中から数校のみなさんに、取り組み内容や苦労したこと、良かったことなどをお話ししていただきます。

発表校

4～5校を予定、ただいま調整中です。

事例発表と意見交流

1校あたり15分程度の発表、質疑・意見交流の時間も予定しています。

市内各小・中学校の読書指導員・図書ボランティアの方々のまたとない交流の場となると思います。奮ってご参加ください。



みんなで整備しよう

学校図書館を

『八王子読書フォーラム』無事終了

11月3日(水・祝)八王子市生涯学習センターで開催されました。学校図書館担当のメンバーも参加、学校図書館活用重点校の様子や私たちの仕事紹介の写真パネルを掲示したほか、読書郵便体験や切り紙のしおり作りなどを行いました。当日は100名もの方にご来場いただきました。

この日展示した活用重点校や活動紹介の写真は、第4回読書指導員研修会でも展示します。

(写真はしおり作りをする参加者)



第3回学校図書館読書指導員・図書ボランティア研修会

『紙芝居と修理講習』 報告（平成 22 年 11 月 10 日）

講座 紙芝居の特色と活用

「大人でも引き込まれる醍醐味のようなものを感じました」経験も自信もありませんでしたが、研修を受け、紙芝居ならできそうな気がします」「実習・演習は楽しくよかったです」「他の学校の方と交流ができて有意義でした」

講座に参加された 87 名の学校図書館読書指導員・ボランティアの方からいただいた感想の一部です。研修テーマは、「紙芝居の特色と活用」講師は中央図書館湯原直彦主任が担当しました。まず、「紙芝居と絵本の読み聞かせとの違い」「紙芝居を読む準備と演じ方・下読みと順番チェック、服装、背景、舞台、声色、間」などについての説明が、紙芝居『たべられたやまんば』『おおきくおおきくおおきなあれ』の



中央図書館
湯原直彦さん

実演を交えながらありました。その後、10グループに分かれて実習に入りました。読書指導員・ボランティアのみなさんが、交替で前に立って演じましたが、楽しそうに盛り上がっていました。子どもたちの楽しみの一つでもある紙芝居の機会をぜひ増やしていただければと思います。

講座 図書修理の基本とコツ

グループに分かれて、修理体験



毎月、重点校を訪問し、各学校の図書館の様子を見せていただいています。

書棚に並んでいる本を見ると、子どもたちに人気がある本がすぐに分かります。傷んでいるのです。そうした本が、先生や読書指導員、ボランティアのみなさんによって修理され、子どもたちの人気に応えようと、大切にされている様子も見られます。また、普段から修理講習の要望もお寄せいただいています。そこで今回、

図書修理講習の機会を設けさせていただきました。学校図書館担当の支援サポーター 2 名が講師を務めました。60 名ほどの方から申込がありましたが、内容から定員を絞らざるを得ず、34 名の方への講習となりました。今回受講できなかったみなさまには大変申し訳ございませんでした。

講習は、「修理が必要な本」「修理に必要な道具と材料」についての説明の後、実習に入り、「ページやぶれ」「ページ抜け」「背表紙の壊れ」その他「個別事例の対応」について実際に作業を進めました。

終了後のアンケートでは、「初めての体験、有意義でした。今後に生かしたい」「製本の方法が異なり、いろいろな壊れ方がある中、たくさんの例を挙げて教えてくださり、とても参考になった」等のお声をいただきました。修理技術を今後の各学校での図書館支援活動に生かしていただけるとありがたく思います。



学校図書館

活用重点校紹介～その3～

平成22年度重点校23校の図書館を順番にご紹介していきます。

城山小学校

廊下ガラスケース内に新刊を展示。下は廊下掲示板、先生方のおすすめ本。



中山中学校

渡り廊下がギャラリーになっています。新刊展示と返却ボックスが設置されました。

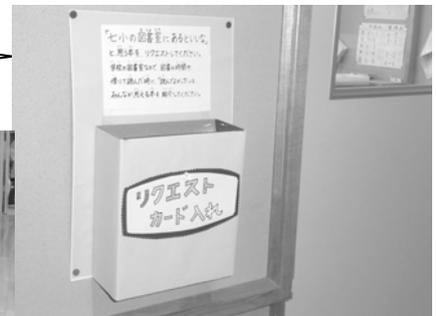


長池小学校

学習発表会前の1週間、閉館しての書架移動

第七小学校

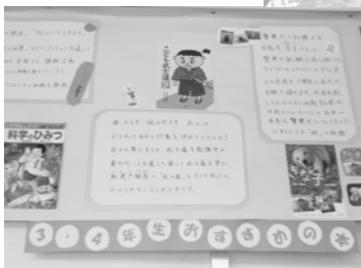
児童のリクエストを受けています。絵本は書名順に整然と。



恩方第一小学校

ボランティアの皆さんから、子どもたちへおすすめの本を紹介しています。

右は読書週間のイベント、体育館でスライドを使ったお話し会。



由井第二小学校

読み物は低・中・高学年向けにシールを貼りました。





学校図書館ワンポイントアドバイス 3 (本の書架への戻し方)



「**読んだ本は元の場所に戻しましょう**」は正しいでしょうか？

図書室の本の並べ方には決まりがあります。一般的には『日本十進分類法』に基づいていますが、学校ごとに教科などの利用に合わせたり、テーマや季節によって特集コーナーを設置していることもあります。

次に借りる人のことを考え、その図書室の並べ方の決まり(分類番号順など)に従って「**読んだ本は正しい場所に戻しましょう**」、これが正解です。

本の並べ方の決まりは分かりやすいように掲示しておくといいですね。



学校図書館耳より情報

日々の活動の参考になるHPをご紹介します。アクセスしてみませんか。

「**授業に役立つ学校図書館活用データベース**」(東京学芸大学 学校図書館運営専門委員会)

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~schoolib/htdocs/>

『先生のための』と銘打った、授業で活用できる事例集です。

「**あしたね**」

<http://www.ashitane.net/>

小学生や中学生の職業調べにもぴったりの仕事・職業インタビューを掲載しています。

「**クリエイティブパーク**」

<http://canon.com/c-park/>

動物・イベント・パーティ・科学など圧倒的なボリュームでペーパークラフトやカードのアイデアや素材が満載です。学校図書館の装飾に活用できそうですね。

(コラム・としょえものの眼)

かい
隗より始めよ

休日に市の図書館へ本を借りに出かけた。仕事の関係で日ごろの勉強不足を補いたい気持ちもあった。図書館学や図書館行政、図書館法令及び基準などという専門書がずらりと並ぶ書架の前に立つ。何とか歯が立ちそうな本を5冊ばかり借りた。家に帰り、その中の1冊をパラパラとめくってみて唖然とした。多くのページに鉛筆で書き込みや線引きがしてあるのだ。気になって読みづらいこと甚だしい。それ以上に腹が立つ理由がある。『学校図書館職員論』などという専門書を読むのは、司書が司書教諭またはその道を歩もうとしている人物に違いない。こういう志をもつ人間が公共図書館の本をこんなふうにあつかうとは。巡回訪問の折、少なくない学校で「不明本が多くて」という悩みを耳にする。多くの公立図書館でも同様の問題を抱えていると聞いた。学校図書館は公共図書館というフィールドに通じている。モラルの形成と定着のためには、まずかい隗より始めねばならない。(甫)



平成22年12月15日 発行 第3号

八王子市教育センター 学校図書館担当
連絡先 電話 042-664-1135 / FAX 042-662-2988
所在地 八王子市散田町 2-37-1
教育センター アドレス: b300700@city.hachioji.tokyo.jp

『としょえもん』キャラクターデザイン: 宇津木台小学校 平井 忍 先生